

# 質問順序

平成30年12月6日（木）午前9時から

12番 木澤正男 議員

4番 小村尚己 議員

1番 宮崎和彦 議員

6番 平川理恵 議員

平成30年12月7日（金）午前9時から

11番 濱真理子 議員

13番 奥村容子 議員

7番 嶋田善行 議員

2番 小林 誠 議員

# 木澤正男議員

## 1. 生き生きプラザや公民館の貸館の利用について

- (1) 営利を目的とした利用に対する町の規定について。
- (2) 受付の際の町の対応について。
- (3) 営利目的であることが発覚した場合の町の対応について。

## 2. 協働のまちづくりの取り組みについて

- (1) 各年度ごとの提案事業の件数と傾向について。
- (2) 活動団体メンバーから、提案事業の申請、会場の申し込みなどの事務手続きが煩雑化されたと不満の声を聞くが、制度発足当初と現在とではどのように変わっているのか。
- (3) 制度スタート当初はコーディネーターなどをつけ、町として事業提案のサポートなどを積極的に行っていたが、その後そうしたサポートが弱まり、提案団体の活動が弱まってきているように感じるが、あらためて事業提案や提案団体の継続的な活動をサポートする町の支援体制は必要ではないか。

## 3. 敬老記念のお風呂券について

- (1) 以前から、お風呂券は使わないので、違うものにしてほしい、もしくは選択制にしてほしいとの声が多数寄せられているが、改めて町として検討できないか。

## 4. いかるがバイパス（パークウェイ）について

- (1) 沿線住民に対する国・町の認識と対応姿勢について。
- (2) 平成28年度第4回近畿地方整備局事業評価監視委員会に見られる国の認識について町としてどう考えているか。

# 小村尚己議員

## 1. 公共施設にソーラーパネルをつけることについて

- (1) 来年度、エアコンの設置に向けて今会議でも初日に補正予算の議決を行ったところである。エアコンを電気式で使う学校では、今後より電気代がかかると思う。また避難所になる体育館等は停電した際も電気を自家発電する必要性もあると思うが、公共施設にソーラーパネル等をつけて自家発電をするべきではと考えるが町の見解を伺う。

## 2. 災害弱者のために協定を結ぶことについて

- (1) 災害が起きたとき、災害弱者に対する対応をどのように考えているか。今後、社会福祉法人や近隣の企業等と提携していくべきだと考えるが町の見解を伺う。

## 3. 部活動について

- (1) 昨今、少子化、クラブチームによる子どもが増えていることにより、学校で部活動をするのが困難になっている現状がある。斑鳩町の現状と今後の考え方について。

# 宮崎和彦議員

1. コミュニティバスについて
  - (1) 公費の使用について
  
2. 遊水地調整池について
  - (1) 国・大和川
  - (2) 県・三代川
  - (3) 町
  
3. もみじ祭りの今後について
  - (1) 再開はあるのか。
  
4. 入札について
  - (1) 参加業者何社。
  - (2) 誘導入札になっていないのか。

# 平川理恵議員

## 1. 県営水道一元化について

- (1) 本町の県営水道の利用割合、自己水の状況
- (2) 県営水道一元化に参画する場合のメリット・デメリット（住民の利用料金、設備費等）
- (3) 現状では、一元化に向けて早急に進める必要があるかどうか。
- (4) 全体スケジュールと本町が参画するかどうかを決める時期はいつごろになるのか。
- (5) 水源が遠方にあると、災害時には送水が寸断される懸念がある。災害時を考えると自己水源を残すことが必要だと考えるが、いかがか。

## 2. 鳥獣被害について

- (1) 被害状況について  
ここ数年、また今年の傾向（増えているのかどうか、申し出件数、対応件数等）
- (2) 住宅地や通学路等への出没状況について。その頻度等。
- (3) 実態把握しているかどうか。調査をする必要があると思うが、どうか。
- (4) 現状は、どのような対策をしているか。
- (5) 対策をしてほしいという申し出には、すべて応じることができるのか。
- (6) 従来対策以外の方法はないのか。集落への侵入を防ぐための防護柵を設置するなどの対策は可能かどうか。

# 濱真理子議員

1. 「身障者用」「多目的」トイレの表示について
  - (1) 公共施設等での表示の現状について（表示マークや文字による表記）。
  - (2) 小中学校での表示について。
  - (3) 避難所となる施設のトイレの充実について。
2. 風疹対策について
  - (1) 奈良県・斑鳩町での罹患者の現状と今後の見通しはどうか。
  - (2) 予防対策について。
  - (3) 検査や予防接種の補助について。
3. カーブミラーの結露について
  - (1) 冬季・早朝の結露・くもり対策について。

# 奥村容子議員

## 1. 「こども防災手帳」について

- (1) 小学校での防災教育の認識と現状について。
- (2) 子供防災手帳の導入について。

## 2. 観光危機管理の充実について

- (1) 「地域防災計画」に記されている外国人・観光客への対策として。
  - ①外国人向け防災リーフレットの多言語化について検討しているか。
  - ②避難地・避難路・避難所の案内標識の設置にあたって日本語・英語表記以外の言語について検討していくのか。
  - ③町内の観光施設にその近くの避難所を掲示するよう協力要請はできているか。
  - ④避難所等に通訳を行う一般ボランティアが派遣できるよう、町社会福祉協議会との連携に努めているか。

## 3. 史跡中宮寺跡公園付近に駐車場を設置することについて

- (1) 11月23日に、史跡中宮寺跡公園で実施された、第2回いかるがマルシェの参加人数、車の台数について。
- (2) 史跡中宮寺跡公園の付近に駐車場を設置する事の認識について。

## 4. 町火葬場について

- (1) 植栽管理について。

# 嶋田善行議員

## 1. 斑鳩らしい教育について

(1) 義務教育における郷土愛・ふる里を思う心を育む教育について。

## 2. 防災訓練について

(1) 保育園、幼稚園、小学校では各種避難訓練、防災訓練が行われているが、どのような訓練か。

## 3. 公共下水道の普及について

(1) 駅前から目安4丁目地内に至る下水道整備についての工程は。



# 小林誠議員

## 1. 住宅セーフティーネット・住まいの確保について

- (1) 2017年、改正住宅セーフティーネット法が施行され、住宅確保の安全網ともいえる制度がスタートし1年。住宅確保要配慮者、高齢者、低額所得者、子育て世帯等への支援や入居を拒まない賃貸住宅の登録制度について。
- (2) 住宅確保に配慮が必要な人たち向けの賃貸住宅の供給促進計画について。

## 2. 乳児用液体ミルクの子育て支援へとしての活用について

- (1) 乳児用液体ミルクは、人工乳が液状で容器に密封されており、授乳時に調乳の手間を省くことができ、長期保存が可能です。国の男女共同参画会議において、家事・育児等の軽減を図るという観点から普及に向けた取り組みが進められているが斑鳩町としての考えは（2017年3月での一般質問で要望）。

## 3. 公共施設の有効活用について

- (1) 斑鳩町マルシェ・宿泊施設等事業者誘致事業における法隆寺iセンターの有効活用のこれまでの協議について。
- (2) 旧あゆみの家や今後の法隆寺iセンターの利用について。

## 4. グローバルGAPの取組状況について

- (1) 国際水準GAPの取組及び認証取得の推進は、国産農畜産物の2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会への供給のみならず、輸出拡大や農業人材の育成など、我が国の農畜産業競争力の強化を図る観点から、極めて重要となっています。
  - ①国産農林水産物の輸出増や国内での販路拡大に向けて、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会も契機として、生産現場における国際水準のGAP（農業生産工程管理）の実施及び認証取得の拡大について、斑鳩町と奈良県の取組について。

② 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における食材調達基準（農産）を満たす件数について。

1. JGAP 2. GLOBALGAP 3. GAPに基づき生産され、都道府県等公的機関による第三者の確認

4. ASIAGAP

③ 奈良県において、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における食材調達基準（畜産）、上記要件1から4をみたす件数について。

④ 農林水産省が「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」（平成22年4月）（以下「GAP共通基盤ガイドライン」という。）を策定し、当該ガイドラインに準拠したGAPの普及を推進しているが、斑鳩町と奈良県の考えは。

⑤ グローバルGAPの取組・認証取得の拡大の推進施策。GAP指導体制における指導員数について。

⑥ JGAP等のGAP認証の取得農家の経費の支援措置について（国産畜産物の輸出環境整備事業）。